

# 9 小野町 地区

## 1. 地区概況

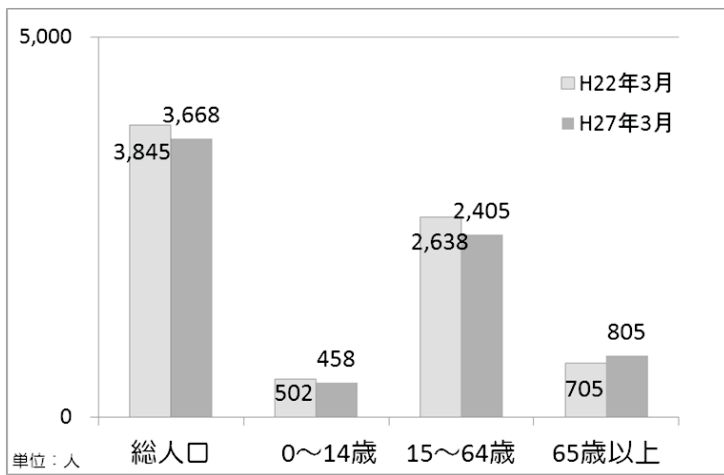
鶴見川と海側の工業地帯に挟まれた潮田地区の南部に位置した平坦な地域です。最寄駅は、JR鶴見線の鶴見小野駅です。鶴見朝鮮初級学校、横浜サイエンスフロンティア高校、小野弁財天神社などがあります。産業道路から海側にかけて工場地帯が広がっています。

6月の潮田神社例大祭は、潮田地区の一大イベントです。



## 2. 小野町地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	3,845人 (100.0%)	3,668人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	502人 (13.1%)	458人 (12.5%)	(13.3%)
15～64歳	2,638人 (68.6%)	2,405人 (65.6%)	(67.0%)
65歳以上	705人 (18.3%)	805人 (21.9%)	(19.7%)



- 5年前と比べると、0～14歳、15～64歳の人口、総人口は減少しています。
- 一方で、65歳以上の人口は増えており、高齢化が進んでいます。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

## 3. 第2期計画

### ① 次世代を担う、担い手を育てよう

◆お祭りなどの行事をもっと活用しよう！

### ② 高齢者世帯に日常生活の情報をきめ細かく届けていこう

- ◆よい情報はみんなで伝えあおう！
- ◆町内会新聞を作成しよう！



## 4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

### 小野町連合つながる会の開催【平成23年度～25年度】

平成23年度からあいねっと地区フォーラムを『小野町連合つながる会』と名付けて、人と人のつながりを深めて住みやすい地域になることを目指して取り組みました。

#### ■平成23年度『2011年を振り返る小野町10大ニュース発表』

各町内会における23年度の活動や印象に残ったできごとを振り返り情報交換を行い、下記のような意見が出ました！



- 小野町自治会
- ・会長総務大臣賞受賞！
  - ・体育祭優勝 ・仮装盆踊り優勝
  - ・さんまバーベキュー大好評 等

- 下野谷汐入南部自治会
- ・役員改選 ・自治会会館整備
  - ・廃品回収（空き缶追加）
  - ・ソフトボール優勝 等

- 小野町第二自治会
- ・震災停電時、会館の発電機でテレビを映した。
  - ・納涼祭5回目
  - ・春のペタンク3位入賞
  - ・自治会新聞づくり 等

- クリオレジダンス横浜鶴見自治会
- ・自治会誕生10周年
  - ・クリスマス飾りバージョンアップ
  - ・祭半纏（はんでん）の新調
  - ・小野町第二自治会老人会へ参加・納涼祭共催 等

#### ■平成24年度『デジカメ・携帯片手にまち散歩&スナップ撮影』

町内会新聞にも活用できる、デジカメの使い方講座を小野町のまち歩きとあわせて開催しました。

全2回講座で実施し、1回目は撮影の仕方を勉強した後に実際に外に出て写真撮影を行いました。

2回目は、実際に撮った写真にタイトルをつけたり講師からアドバイスをもらいました。



参加者から「レンズを通してみたら、小野町の新たな一面に気づいた」という声もありました。

#### ■平成25年度『小野町今昔物語』

地域の方から提供していただいた昔の小野町地区の様子がわかる写真を見ながら、グループに分かれて話し合いました。

地図に写真の場所を書き込んだり、その頃の町や人の様子、出来事等の思い出を話し合いました。

写真をとおして、小野町地区の歴史を振り返り、『自分達の町をこれからも大事にしていきたい』という思いを皆で共有できました。

あまり変わってないと思っていたけど、写真を見たら変化を実感！



昔からお祭りは盛り上がるよ

## 5. 第3期計画策定に向けて

- 第2期計画をもとに活動してきたことや、これからの5年間を見据えた第3期計画が必要になるとの理解のもと、アンケートの実施（平成26年度）
- アンケートを基にして、直接、地域の意見や考えを話し合い、共有し、第3期計画に取り込むため、地区フォーラムの実施（平成27年度）

### ステップ1 『小野町地区あいねっとアンケート』を実施しました。

- 幅広い世代が集まる小野町連合体育祭にて、アンケートを実施しました。  
（日時：平成26年10月12日(日) 場所：小野第四公園 回答数：110人）
- 今を考える設問（近所の人とどの程度お付き合いをしていますか？）では、全体で約4割が、「困ったときに相談や助け合いができる」と回答しており、「ほとんど付き合っていない」と回答した方はおらず、近所の方との関係性が確保されていることがうかがえました。
- これからを考える設問（より住みよい町になるために、必要な取り組みは？）では、全世代で、「日ごろのあいさつ・声かけ」が最も多く、年齢が高くなるにつれ、高い割合になっており、広く顔の見える関係についての回答が多く寄せられました。



### ステップ2 『小野町地区あいねっと地区フォーラム』を実施しました。

- 地域の方々の直接の声を共有して、住みよい町にしようと、地区フォーラムを開催しました。  
（日時：平成27年9月12日(土) 場所：小野町自治会館 参加者23人）
- 地区ごとにテーブルを用意し、「日頃からのあいさつ・声かけ」・「5年後の小野町地区について」等をグループワークで話し合いながら、住みよい町にするため、意見やアイデアを出し合い、議論を深めました。
- 地域の中で、行事を通じてのあいさつや声かけ等、第3期計画を見据えて、地域の活性化や新たな地域の担い手について等様々な視点から話し合うことで、地域のことを考え、取り組んでいこうという思いを共有できました。



## 6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



# 地域みんなでつながろう

### 目標1

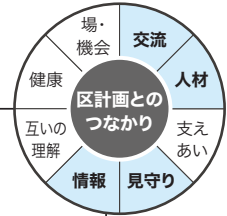
地域みんなでつながろう

#### ■現状の良いところ・課題

- ・あいさつ、声かけは世代を問わずできている
- ・地域行事が多く開催されている
- ・地域行事への参加者は固定化してきており、役員も高齢化している

#### ■5年間の具体的な取組

- ◎新たな担い手を育てる
- ◎中高生が地域行事の企画・運営へ参加する
- ◎若い人を含めた行事等の周知と周知方法の工夫をする



### 目標2

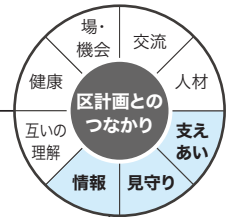
人のつながりで災害に強いまちにしよう

#### ■現状の良いところ・課題

- ・見守りの意識が高まっている
- ・地域とつながりがいない人がいる
- ・災害時の避難方法が周知されていない

#### ■5年間の具体的な取組

- ◎日頃から災害に備える（避難方法・情報伝達等）
- ◎災害時に支援が必要な人を把握する
- ◎顔の見える関係をつくり、助け合えるまちにする



### 目標3

地域みんなで健康づくり

#### ■現状の良いところ・課題

- ・健康に対する行事を定期的開催している
- ・高齢者の集まる場がある
- ・高齢化が進んでいる

#### ■5年間の具体的な取組

- ◎地域資源を活用した健康づくり活動の実施
- ◎高齢者の集まる場を増やす
- ◎ラジオ体操等、地域の日常的な活動に積極的に参加・声かけする

